

# 平成28年度 りんご技術情報（第5号）

大崎農業改良普及センター  
TEL：0229-91-0727  
平成28年10月

## < 生育状況 >

りんごの肥大状況は下記の通りとなっています。

表1 平成28年産りんごの肥大状況(10月11日) (調査地点：色麻町)

品種		タテ径	ヨコ径
ふじ	本年(mm)	81.5	89.1
	<u>平年比</u>	<u>105%</u>	<u>105%</u>
	平年(mm)	77.5	84.8

## < 今後の管理 >

### (1) 葉摘み

- ・葉摘みを行う場合には、下記に留意して作業を行いましょう。

開始時期：中生種、晩生種ともに適期です。

実施手順：収穫までに2回に分けて実施し、1回目は果実に直接ついた果そう葉を除去し、約1週間後に果実周囲の葉を除去します。

### (2) 玉回し

- ・玉回しを行う場合は、下記に留意して作業を行いましょう。

開始時期：果実の30%程度着色したら1回目を実施し、陽光面が着色したら葉摘みと併せて2回目を実施しまししょう。

### (3) 台風対策

- ・発角度のせまい枝は被害を受けやすいので、主枝・亜主枝を針金等を利用し結束しておきましょう。高接ぎした枝は、接ぎ木した部分から欠損しやすいので、特に注意が必要です。
  - ・わい化栽培では根が浅く倒伏しやすいので、支柱への結束の確認をしておきましょう。
  - ・多雨により園内が滞水すると、根の呼吸が阻害され、地上部の生理的活動が低下するので、事前の排水対策を徹底しておきましょう。
  - ・落果が予想される場合は、使用した農薬の最新登録内容（収穫前日数）を確認し、収穫可能な果実はできるだけ収穫しておきましょう。
- ※荒天時の見回り等は大変危険ですので控えましょう。